静岡市認証 認知症カフェ
第126号 令和8年11月15日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

毎月
第三日曜日

オレンジカフェ静岡

11月15日 2時～4時（会場参加費 100円）

今月は会場とオンラインで行います

オンライン参加をご希望の方は２面下に記載のメルアドにお申込みください。



若年性認知症の方の家族
介護福祉士

11月のミニ講話

夢を持ち続けるという支援

ある出会いと一曲の歌から始まったこと

渡邉 恵美子さん

若年性認知症の主人と向き合いながら、昨年介護福祉士の資格を取得しました。

主人は、認知症だけでなく知的障害や発達障害の特性もあり、それらの特性も踏まえながら関わっていく必要があることを学びました。

その経験から私が辿り着いたのは、本人の「楽しい」と「できる」は切り離せない、ということです。好きだから挑戦したくなる。楽しいから続けたくなる。その積み重ねが「できる」を育み、その人らしい暮らしに繋がっていく。主人との実体験から私はそう感じています。

また本当に向き合い続ける為には、本人だけでなく、家族自身の「楽しい」と「できる」を大切にすることも欠かせないと気づきました。現在夫婦で卓球を通した小さな活動を続け、一人ひとりの「楽しい」と「できる」を一緒に探す関りを大切にしています。

認知症は、できなくなることばかりに目が向きやすい病気です。しかし、主人や利用者さん、認知症の義母と関わる中で、その人らしさや本当に大切にしているものが見えてくる場面を何度も経験してきました。

認知症とは、本人や家族、支援者の皆がその人らしく生きる為の関わり方を見つめ直す機会だと感じています。認知症への恐怖や先入観によって、その可能性が閉ざされてしまうのは勿体無い、と思うのです。

私達の経験が誰かの希望や新たな選択肢につながることがありましたら幸いです。

§ 認知症を語り合う会の報告 §

☆認知症の母（９０歳代）が現在、介護老人保健施設に入所しているが、他の施設に移るよう手続きが進められている。環境が変わると認知症が進行しやすいと聞いているので心配している。

施設間で申し送りがなされるが、個人が大切にしていることや日々の習慣、好き嫌いなどの情報が必ずしも伝達されるとは限らないので、そうした情報を新しい施設にしっかりと伝えて、本人の思いを尊重したケアが続くように配慮することが大切ではないでしょうか。

☆もの物忘れが多くなって少し心配している。今のところ困ったことはないが、どうしたらよいでしょうか？

気になるならば、早めの受診が重要とされています。静岡市では、６５歳以上の方を対象に、年度内に１回無料で「もの忘れ検診」を受けられます。それを利用するとよいでしょう。

☆オレンジカフェ静岡には、認知症の人と家族の会『絆の会』の会長、望月恵子さんがボランティア・スタッフとして参加しています。相談してみてください。

カフェのプログラム

一、ミニ講話　渡邉　恵美子さん
　　質疑応答
二、声のワークショップ　上藤美紀代さん
　　二階会議室　エレベーターがあります
三、認知症を語り合う会（ミニ講話と同じ会場）
　　ミニ講話の講師　渡辺恵美子さんを囲んで
二、三はご希望のところにご参加ください。

個別相談

今月は城東ケアプランセンターから加藤美樹さん（主任介護支援専門員・介護福祉士）がオレンジカフェ静岡にいらして、相談にのってくださいます。

今後のオレンジカフェ

１２月２０日（日）
内山満さん
静岡県希望大使（認知症本人大使）
「私が大切にしている３つのこと」



１月１７日（日）
たたらなおきさん
絵本・造形作家

２月２１日（日）
遠藤博之先生
たんぽぽ診療所



会場の写真

会　場　静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ
HapiSpo（ハピスポデイ和かな）

会場提供　**社会福祉法人静和会**

共　催
NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構
社会福祉法人静和会

☎ 090−8731−7647（岩崎）
shizuoka.orangecafe@gmail.com

※駐車場有ります



バス：静岡駅北口、5,6 番からのすべてのバス・で横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩 5 分